



2016 年度の取り組み報告



うだ夢創の里市民共同発電所の完成を祝う会



鍋帽子®づくり学習会

2015年11月、フランス・パリで、気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）が開催され、2020年以降の温暖化対策の国際枠組み『パリ協定』が採択されました。2016年11月には北アフリカ モロッコでのマラケシュでCOP22において、世界最大の排出国である中国のほか、米国や欧州連合（EU）、インド、ブラジル、メキシコなどが批准し、『パリ協定』がスピード発効、各国に気候変動対策を呼び掛ける「マラケシュ行動宣言」が発出され、今後は工程表に沿って、パリ協定の実効性を高め、各国の目標や対策強化を促すことができるルールブックを作成し、2018年までに合意することが課題とされています。

このような状況の中、原子力発電に頼らない社会づくりに向け、再生可能エネルギーや省エネルギーの普及を目的に、市民生活協同組合ならコープの寄付により、当法人は2016年9月23日に設立し、事業を開始しました。2016年度は学習活動と太陽熱利活用システム導入への助成を実施することができました。また、うだ夢創の里市民共同発電プロジェクトへの支援を行い、地域で再エネを普及する取り組みへ参加しました。再エネや省エネを応援する仲間＝再エネふれんずは133人（個人118、法人15（3月31日現在））となり、賛同者の輪を広げることができました。2017年度は学習活動を中心に助成事業を拡大し、地球温暖化防止に向けて、再エネふれんずとともに再生可能エネルギーと省エネルギーの普及を推進していきます。



太陽熱利活用機器への助成（家庭用）



太陽熱利活用機器への助成（福祉施設）

2016 年度取り組み経過

- 2016 年 9 月 23 日 市民生活協同組合ならコープの寄付により設立
- 10 月 12 日 設立総会をならコープ本部にて開催
- 10 月 28 日 奈良県文化会館にて創設記念学習会を開催。
和歌山大学客員教授、自然エネルギー市民の会
代表 和田 武 氏による講演会を開催
- 11 月 太陽熱利用機器の助成開始
うだ夢創の里共同発電所プロジェクトへの参加
決定
- 2017 年 1 月 鍋帽子®づくり学習会を開催
- 2 月 鍋帽子®づくりを使った料理教室を開催
- 3 月 うだ夢創の里市民共同発電所 発電開始
- 4 月 うだ夢創の里市民共同発電所の完成を祝う会

